

リーグステージ突破に向けた絶対条件
ホームで必ず勝点3をものにする！

©AFC

KASHIWA REYSOL WINNING GUIDE
Vitória ヴィトーリア
VOL. 527



AFC CHAMPIONS LEAGUE ELITE 2026/27
LEAGUE STAGE MD4
2026.11.03 TUE

VS 大田ハナ・シチズン（韓国）

タイ遠征から帰国して、中3日で迎えた浦和レッズ戦は、先発メンバーを大幅に入れ替えながらも4−0の快勝を収めた。過密日程の中、総力戦で勝ち取った勝点3は、今回の大田ハナ・シチズンを迎えるにあたって大きな意味を持つ。レッズ戦後、リカルド・ロドリゲス監督は「一人の選手が疲労してきたときには、別の選手が出場し、同じレベルのパフォーマンスを発揮することができる」と選手層の充実を評価した。小泉佳穂も「大きくメンバーを変えた試合で結果を残せたというのは、本当に大切なこと」と語っており、厳しい連戦を通じて誰が出ても戦えるチームへと着実に成長している。

ただし、ACL Eliteでは思うように勝点を積み上げられていない。前節のラーチャブリー戦では試合を支配しながらも決定機を生かせず、0−0の引き分けに終わった。今回対戦する大田もレイソルと同じく1勝1敗1分の勝点4で並ぶチームだ。初戦では京都サンガF.C.に1−0で競り勝ち、前節はヴィッセル神戸に0−1で敗れたが、サイドからの仕掛けと鋭いカウンターには迫力があった。レイソルとしては、全北現代モータースのカウンターに沈んだ初戦と、ラーチャブリーの守備をこじ開けられなかった前節の反省と教訓を生かさなければならない。

「ホームの試合は、必ず勝点3が必要になる」（古賀太陽）。総力戦でレッズを下した今の勢いと強さを、今度はアジアの舞台での勝利につなげる。この試合の勝点3は絶対条件だ。

クラブ応援プランで、
レイソルの強化に協力しよう！
加入はこちらから▲

DAZN
ACL Elite 2026/27全試合を、
DAZNが配信。
DAZN.COM

ハタメグミの
お絵かき日立台！
~2026/27~



リーグ戦、いい勝利でしたね…へへへ…！余韻をかみしめつつ、ACLも止まらずに行きましょう！アジアをレイソルらしく突き進め〜！

AFCチャンピオンズリーグElite 2026/27 リーグステージ MD4 グループEAST

柏レイソル vs 大田ハナ・シチズン

2026.11.03 TUE
柏サッカースタジアム
19:00 KICK OFF

KASHIWA Reysol

[監督]リカルド ロドリゲス Ricardo RODRIGUEZ

1	GK	猿田 遥己	Haruki SARUTA
2	DF	三丸 拡	Hiromu MITSUMARU
3	DF	麻田 将吾	Shogo ASADA
4	DF	古賀 太陽	Taiyo KOGA
5	MF	遠藤 渓太	Keita ENDO
6	MF	山田 雄士	Yuto YAMADA
8	MF	小泉 佳穂	Yoshio KOIZUMI
9	FW	細谷 真大	Mao HOSOYA
11	MF	渡井 理己	Masaki WATAI
13	DF	犬飼 智也	Tomoya INUKAI
14	MF	大久保 智明	Tomoaki OKUBO
15	FW	藤尾 翔太	Shota FUJIO
16	MF	汰木 康也	Koya YURUKI
17	MF	手塚 康平	Kohei TEZUKA
18	FW	垣田 裕暉	Yuki KAKITA
19	MF	仲間 隼斗	Hayato NAKAMA
20	MF	瀬川 祐輔	Yusuke SEGAWA
21	MF	小西 雄大	Yudai KONISHI
23	MF	長南 開史	Kaiji CHONAN
24	MF	久保 藤次郎	Tojiro KUBO
25	GK	小島 亨介	Ryosuke KOJIMA
26	DF	杉岡 大暉	Daiki SUGIOKA
27	MF	熊坂 光希	Koki KUMASAKA
28	MF	戸嶋 祥郎	Sachiro TOSHIMA
29	GK	永井 堅梧	Kengo NAGAI
30	MF	古谷 柊介	Shusuke FURUYA
32	DF	山之内 佑成	Yusei YAMANOUCHI
33	MF	岩永 創太	Sota IWANAGA
39	MF	中川 敦瑛	Nobuteru NAKAGAWA
40	MF	原川 力	Riki HARAKAWA
42	DF	原田 亘	Wataru HARADA
43	MF	加茂 結斗	Yuito KAMO
44	MF	弓場 堅真	Kenshin YUBA
45	DF	佐藤 桜久	Raku SATO
46	GK	松本 健太	Kenta MATSUMOTO
51	FW	満田 誠	Makoto MITSUTA
56	DF	常藤 奏	Kanade TSUNETO
60	DF	丸山 寿貴斗	Jukito Maruyama
61	FW	巻渕 彪悟	Hyogo MAKIBUCHI
62	DF	宮野 健貴	Tatsuki MIYANO
63	GK	金子 遙真	Haruma KANEKO
64	MF	五十嵐 陵	Ryo IGARASHI
65	MF	茂木 勇人 チュクソム	Yuto CHUKWUSOMU MOGI
77	GK	若原 智哉	Tomoya WAKAHARA
87	MF	山内 日向汰	Hinata YAMAUCHI
88	DF	馬場 晴也	Seiya BABA

※出場停止:なし

予想スターティングメンバー



DAEJEON HANACITIZEN

[監督]ファン・ソンホン HWANG SUN HONG

1	GK	イ・チャングン	LEE CHANGGEUN
2	DF	パク・ギュヒョン	PARK KYU-HYUN
3	DF	キム・ミンドク	KIM MINDUK
4	DF	チョ・ソングォン	CHO SEONGGWON
6	DF	カン・ユンソン	KANG YOONSEONG
7	MF	石田 雅俊	ISHIDA MASATOSHI
8	MF	ビクトル・ボブシン・ペレイラ	VICTOR BOBSIN PEREIRA
9	FW	ジオゴ・ジ オリベイラ・バルボザ	DIOGO DE OLIVEIRA BARBOSA
10	FW	チョ・ミンギュ	JOO MINKYU
11	MF	オム・ウォンサン	UM WONSANG
13	DF	キム・ジンヤ	KIM JINYA
14	MF	キム・ジュンボム	KIM JUNBUM
16	DF	イ・ミョンジェ	LEE MYUNG JAE
17	MF	グスタフ・ルドウィグソン	GUSTAV LUDWIGSON
19	FW	ソ・ジンス	SEO JINSU
25	GK	イ・ジュンソ	LEE JOONSEO
27	FW	チョン・ジェヒ	JEONG JAEHEE
28	MF	キム・ジホ	KIM JIHO
30	MF	キム・ボンス	KIM BONGSOO
31	GK	キム・ミンス	KIM MINSOO
33	DF	キム・ムンファン	KIM MOONHWAN
37	FW	ク・フンミン	KOO HUNMIN
41	MF	パク・ビョンチャン	PARK BYEONGCHAN
44	MF	イ・スンミン	LEE SOON MIN
45	DF	ハ・チャンレ	HA CHANGRAE
77	FW	ジョアン・ビクトル	JOAO VICTOR
98	DF	アントン・クリボツィウク	ANTON KRYVOTSIUK

※出場停止:なし

STAFF
ヘッドコーチ／栗澤 僚一 Ryoichi KURISAWA
コーチ／大谷 秀和 Hidekazu OTANI
染谷 悠太 Yuta SOMEYA
GKコーチ／井上 敬太 Keita INOUE
フィジカルコーチ／松原 直哉 Naoya MATSUBARA
フィットネスコーチ／長谷 篤 Atsushi NAGATANI

AFC CHAMPIONS LEAGUE ELITE™

Stop! THE KEY PLAYER

大田ハナ・シチズン
27 FW チョン ジェヒ



右サイドを主戦場とするアタッカーで、鋭いドリブルとスピードを生かした縦への突破を武器とする。2025年に浦項スティーラーズから大田ハナ・シチズンに加入。Kリーグ1・2で通算50得点以上を記録している、実績十分の選手だ。今シーズンのKリーグでも得点力を発揮しており、前節のACL Elite・ヴィッセル神戸戦においても右サイドから何度も仕掛け、カウンターで決定機を演出した。レイソルとしてはボールを失った直後の対応に注意したい。

大田ハナ・シチズン（韓国）

柏レイソルがACL Eliteリーグステージ第4節で対戦する韓国の大田ハナ・シチズンは、大田広域市を本拠地とし、1997年からKリーグに参画した。2016年から2部所属が続いたが、2022年に2位となり、1部に昇格。2025年にK1リーグで2位となり、今回のACL Elite出場権をつかんだ。2002-2003シーズン以来、23年ぶりにアジアの舞台に立つ。

NEW ITEM!

ACL飛行機キーホルダー
（シークレット販売アイテム）



サイズ：H70mm×W70mm

レイソルのホームゲームでは毎回大人気の「シークレット販売アイテム」。
11/3大田戦では『ACL飛行機キーホルダー』が新登場。
アジアの舞台で戦う選手たちを表現したACL大会ならではのデザインです！
ぜひお買い逃しなく！

◎価格：600円（税込）
※2026年9月30日時点在籍の35選手となります

■販売場所：スタジアム内シークレット販売ブース（グッズ仮設売店横）
※キックオフ時点で残数がある場合は、柏熱地帯グッズ売店に場所を移して販売する可能性があります。
■営業時間：開場（17:00）～試合終了後30分程度



誰が出ても同じクオリティで

Focus

2 DF Hiromu MITSUMARU

三丸 拡

――前節のラーチャブリー戦は0―0に終わりました。タイ遠征では寒暖差やピッチコンディションの難しさもあったと思います。試合を振り返っていただけますか？

「気候に関しては、タイに着いたときから蒸し暑さを感じました。特に日中は日差しも強く、日本の夏に近い体感でしたが、日本でも10月には暑い日がありましたし、寒暖差はまったく問題なかったと思います。ピッチコンディションも多少芝生がふかふかとしていましたが、大きな問題ではなかったです。あとは日本からサポーターの皆さんが大勢来てくれて、試合開始前から良い雰囲気を作ってくれていたので、試合環境としては言い訳ができないような状況だったと思います。試合が進むにつれて自分たちがボールを持てる時間が長くなり、相手を見ながら隙を突いてゴールに迫っていくことを目指していた中で、ある程度自分たちの想定どおりにはプレーできました。そこからゴール前を固められたときに、崩し切るクオリティや駆け引き、あとはミドルシュートの数と質をもっと高めていかないと、ああいった展開の中で勝ち切るというのは難しいと思います。ただ、相手がカウンターでワンチャンスを狙ってくるという展開の中で、そこはしっかりと無失点に抑えられましたし、そこまで大きなチャンスを作られなかったところは次につながると思います」

――三丸選手にとっても、長距離移動を伴う中2日や中3日の連戦は初めての経験だと思います。どのような感想ですか？

「想定していた以上にハードですね。飛行機もそうですし、現地に到着してからのバス移動の時間も長かったです。でもクラブもそれを想定して、今シーズンは総力戦で戦うという意味でこの編成になっていると思います。大事なのは、連戦を乗り越えるために誰が出ても同じクオリティを出せるようにすることです。それができなければ、この先も厳しい戦いが続きます。日程はハードですが、移動の面も現地の環境も、クラブはできる限り快適な環境を準備してくれているので、選手はそれに応えるだけです」

――海外チームとの対戦では、Jリーグとの違いを感じていますか？

「思ったよりも、相手が自分たちのスタイルに慣れていないというのは感じますね。対戦相手も連戦ということが影響しているのかもしれないですが、Jリーグのようにハイプレスで前線から積極的にはめに来るチームもそれほどないですし、3試合とも、しっかりブロックを作って、前線の個を生かしたカウンターを強みにしているという印象でした。逆に言えば、相手がレイソルのサッカーに慣れてくる前に、ポート戦のように前半の早い時間帯に仕留めることも必要かなと思います」

――大田ハナ・シチズンの印象はいかがですか？

「初めての対戦なので、実際にやってみなければ分からないところはありますが、これまでの3試合と同じように、しっかりブロックを作ってカウンターを狙いに来ると思っています。攻めているときのリスクマネジメントや相手の高さへの対策も想定した中で、相手がどう攻撃してきても、自分たちの時間をより多くして、相手を走らせて、動かして、隙を作り、そこを突いてゴールを奪うという戦略は変わりません。特に今回はホームですし、相手を押し込んで奪われたらすぐに回収し、もう一度攻めるというサイクルを徹底するだけだと思います」

――最後にサポーターへのメッセージをお願いします。

「ACLのホームゲームは絶対に勝たなければいけない試合です。いつものリーグ戦と変わらないぐらい、もしくはそれ以上の熱気で支えていただけたらと思います。僕たちはそういった声を力にしながら、前半開始直後から相手を圧倒できるようにプレーしていきますので、ぜひ応援よろしくお願いいたします」

永井堅梧の性分

文＝鈴木潤 *Jun SUZUKI*
レイソルを中心に国内ユース年代から海外サッカーなどを取材。日々の取材を発信するHP「柏フットボールジャーナル」も運営。

永井堅梧は、チームでも屈指のムードメーカーだ。試合に出ていないときも、ベンチから誰よりも大きな声を張り上げて仲間を鼓舞する。味方がゴールを決めれば、ベンチから飛び出して真っ先に駆け寄り、まるで自分がゴールを決めたかのように喜ぶ。その明るいキャラクターで周囲を盛り上げる姿は、今ではレイソルの日常の光景となっている。

だが永井の魅力は、その明るさだけではない。

彼は全体練習が終わった後も、井上敬太GKコーチとともに居残り練習を続けている。誰よりも遅くまでグラウンドに残り、貪欲に自らを練磨していた。

「まだまだ成長できると思っています」

以前、個人練習を続ける理由を永井に訊ねた際に、彼はそう答えてくれた。

昨年夏にレイソルへ加入してから、新たな環境のもと、これまでになかった考え方を取り入れ、技術の習得にも積極的に挑戦してきた。現状に満足することなく、さらなる成長を求める。その姿勢はいかなるときも変わらなかった。

GKは、ピッチに立てる選手が一人しかいない特殊なポジションだ。どれだけ練習を重ねても、必ずしも出番が巡ってくるとは限らない。それでも永井は、いつ訪れるか分からないチャンスに備え、準備を続けてきた。

「今までも、チャンスが来たときに良いパフォーマンスをするために練習してきたので不安はなかったです」

明治安田百年構想リーグで出場機会が巡ってきたときも、永井は自信を持って話していた。

そして今、小島亨介、若原智哉の欠場によって出場機会が続く中、永井はその準備の成果をピッチで示している。

先週末の浦和レッズ戦では、シュートストップ、クロス対応のみならず、ディフェンスラインにコーチングを続けながら最後まで集中を切らさなかった。

公式戦出場を重ねることで試合勘を取り戻し、プレーが研ぎ澄まされていく。ただ、その土台は、彼の日々のトレーニングによって積み上げられたものでもある。つまり、レッズ戦の好パフォーマンスは、間違いなくその成果だった。

「そうやって成果を出していけたら、選手としては幸せですね。4－0はこれ以上ない結果だと思いますし、



この景色を見るために日々練習してきました」

ピッチに立っても、ベンチにいても、メンバー外でもチームのために全力を尽くす。ヴィッセル神戸戦で出色のパフォーマンスを見せた戸嶋祥郎もそうだった。

日々努力し、準備を進めてきたとしても必ず結果を残せるとは限らない。それがプロの世界の厳しさだ。ただ、結果を残す者は例外なく努力し、準備を続け、自らの手でチャンスをモノにしている。永井は、改めてその大切さを示してくれた。

Reysol Report

KASHIWA REYSOL J1 2026/27 GAME SCHEDULE

節	日付	時刻	会場	対戦	結果
1	8月8日(土)	19:00	三協F柏	水戸ホーリーホック	○2-1
2	8月14日(金)	19:00	MUFG国立	東京ヴェルディ	○3-1
3	8月21日(金)	19:00	三協F柏	V・ファーレン長崎	○4-2
4	8月29日(土)	18:30	アイスタ	清水エスパルス	○1-0
5	9月2日(水)	19:00	ハナサカ	セレッソ大阪	●0-2
6	9月6日(日)	19:00	三協F柏	横浜F・マリノス	●0-2
7	9月11日(金)	19:00	サンガS	京都サンガF.C.	○3-2
8	9月20日(日)	17:00	Gスタ	FC町田ゼルビア	○4-2
9	10月9日(金)	19:00	三協F柏	ヴィッセル神戸	○4-2
10	10月17日(土)	19:00	三協F柏	名古屋グランパス	●1-3
11	10月21日(水)	19:00	味スタ	FC東京	△0-0
12	10月24日(土)	15:00	メルスタ	鹿島アントラーズ	○3-2
13	10月31日(土)	16:00	三協F柏	浦和レッズ	○4-0
14	11月7日(土)	16:00	三協F柏	川崎フロンターレ	―
15	11月20日(金)	19:00	三協F柏	ジェフユナイテッド千葉	―
17	11月28日(土)	16:00	三協F柏	サンフレッチェ広島	―
18	12月6日(日)	16:00	三協F柏	アビスパ福岡	―
19	12月13日(日)	14:00	JFEス	ファジアーノ岡山	―
16	12月16日(水)	19:00	バナスタ	ガンバ大阪	―
20	12月19日(土)	16:00	U等々力	川崎フロンターレ	―
21	2月13日(土)or14日(日)	未定	三協F柏	清水エスパルス	―
22	2月20日(土)or21日(日)	未定	水戸信ス	水戸ホーリーホック	―
23	2月27日(土)or28日(日)	未定	ピースタ	V・ファーレン長崎	―
24	3月6日(土)or7日(日)	未定	ベススタ	アビスパ福岡	―
25	3月10日(水)※1	未定	三協F柏	京都サンガF.C.	―
26	3月13日(土)or14日(日)※2	未定	三協F柏	ファジアーノ岡山	―
27	3月20日(土)or21日(日)	未定	三協F柏	東京ヴェルディ	―
28	4月3日(土)or4日(日)	未定	三協F柏	セレッソ大阪	―
29	4月10日(土)or11日(日)	未定	埼玉	浦和レッズ	―
30	4月17日(土)	未定	日産ス	横浜F・マリノス	―
31	4月24日(土)or25日(日)※3	未定	三協F柏	ガンバ大阪	―
32	4月29日(木・祝)※4	未定	三協F柏	FC東京	―
33	5月3日(月・祝)or4日(火・祝)※5	未定	ノエスタ	ヴィッセル神戸	―
34	5月9日(日)※6	未定	三協F柏	FC町田ゼルビア	―
35	5月15日(土)or16日(日)	未定	未定	名古屋グランパス	―
36	5月22日(土)or23日(日)	未定	Eピース	サンフレッチェ広島	―
37	5月29日(土)or30日(日)	未定	三協F柏	鹿島アントラーズ	―
38	6月6日(日)	未定	フクアリ	ジェフユナイテッド千葉	―

※2027年開催分の詳細は、12月上旬に発表予定です。※今後、変更になる可能性があります。追加情報につきましては随時発表いたします。※開催日が未定となっている試合について、土日開催の節は金曜日に開催する可能性があります。
※1:2/24(水)に開催する可能性あり　※2:3/3(水)もしくは4/7(水)に開催する可能性あり　※3:柏またはG大阪がACL Elite準々決勝進出の場合は4/1(木)もしくは4/7(水)に開催する可能性あり ※4:柏がACL Elite準々決勝進出の場合は5/19(水)に開催する可能性あり　※5:柏または神戸がACL Elite準々決勝進出の場合は5/5(水・祝)もしくは5/26(水)に開催する可能性あり　※6:ルヴァンカップ決勝進出クラブの試合は4/21(水)、5/12(水)、5/19(水)、6/2(水)のいずれかに開催する可能性あり

AFC Champions LEAGUE ELITE 2026/27 順位表

順位	チーム	勝点	試合	勝	引分	敗	得失点差
1	鹿島	9	3	3	0	0	10
2	神戸	9	3	3	0	0	4
3	G大阪	7	3	2	1	0	5
4	ジョホール(MYS)	7	3	2	1	0	5
5	北京FC(CHN)	7	3	2	1	0	3
6	京都	6	3	2	0	1	3
7	柏	4	3	1	1	1	3
8	上海海港(CHN)	4	3	1	1	1	1
9	大田(KOR)	4	3	1	1	1	0
10	全北(KOR)	4	3	1	1	1	-1
11	コンアン・ハノイ(VNM)	3	3	1	0	2	-3
12	ブリーラム(THA)	2	3	0	2	1	-1
13	ラーチャブリー(THA)	1	3	0	1	2	-3
14	浦項(KOR)	0	3	0	0	3	-7
15	ボート(THA)	0	3	0	0	3	-8
16	ニューカッスル・ジェッツ(AUS)	0	3	0	0	3	-11

2026年10月29日現在

AFC Champions LEAGUE ELITE 2026/27 リーグステージ MD2 グループEAST

節	日付	時刻	会場	対戦	結果
1	9月16日(水)	19:00	全州	全北現代モータース(KOR)	●1-2
2	10月14日(水)	19:00	柏	ボートFC(THA)	○5-1
3	10月27日(火)	19:15(現地)	ラーチャブリー	ラーチャブリーFC(THA)	△0-0
4	11月3日(火・祝)	19:00	柏	大田ハナ・シチズン(KOR)	―
5	11月24日(火)	18:45(現地)	セントラルコースト	ニューカッスル・ジェッツ(AUS)	―
6	12月1日(火)	19:00	柏	コンアン・ハノイ(VNM)	―
7	2月10日(水)	19:00	柏	ブリーラム・ユナイテッド(THA)	―
8	2月16日(火)	19:00	浦項	浦項スティーラーズ(KOR)	―

発行：(株)日立柏レイソル　文：鈴木潤　写真：飯村健司　デザイン：結城亨 (SelfScript)　編集：(株)文化工房